

大志を育む



令和2年8月20日
(教職員向け)
教育委員会だより
No. 35

発行：北広島市教育委員会

特別でない「当たり前」の教育を充実させる

学校教育課 教育支援担当指導主事 高 秀 愛 司

昭和時代の教育者、宮城教育大学教授も勤めた斎藤喜博氏の言葉に次のようなものがある。

「むしろ難物だと言われる子どもから学ぶことを重視する」。「難物だと言われる子どもが出来るようになったとき、教師は、教育の原則だとか法則だとか、教師の技術とか方法とかが一番はっきりわかる」

.....

障がいがあろうが無かろうが、その「一人」の子どもの学びの世界を充実させ、その「一人」の子どもに「分かる、出来る」喜びを味わわせる教育は、いつの時代にも、どの学校の、どの教師もが追い求めてきた不変のものである。各校には、「個に応じた指導」や「一人ひとりを活かす学習」等の「一人」の個性に応じ、「一人」を活かし、学びを充実させるための「特別」ではない「当たり前」の取組の実践が多くある。

例えば、

- 黒板に、本時の「学習課題」や「学習の流れ」が明示されている。
- 教師の発問・指示は、一時一事、短く明快である。

等は、発達障害と言われるような子どもたちにとっても、誰にとっても分かりやすいし、優しい支援となる。

- 机上に、本時学習に必要な鉛筆、色鉛筆、定規、消しゴム以外は出さない。
- 発言は、教師の指名を受けてから行う。

等の学習時の基本ルールが**学校全体で共有され、全学級で徹底**されている。また、特別支援学級の弾力的運用を活用した個別指導や複数教師による協働授業の実践。通常学級においては、少人数指導、課題別学習、グループ学習やペア学習の指導体制や学習形態の工夫を取り入れている。

そんな「当たり前」の教育が、どの学級でも展開されていることが基本である。

学級の荒れを子どものせいにはしていないか、教師それぞれで自戒したい。

西部中学校区 令和2年度小中一貫教育の取組

◆西部中学校区小中一貫教育の概要

西部中学校区では、今年度で8年目を迎える「西部コミュニティ・スクール」の枠組みの中で、小中一貫教育を実施しています。

西部コミュニティ・スクールの「夢を持ち、自らチャレンジする心を育む」ために、身に付けたい4つの力を育てられるよう、小中で協議して具体的な方策・内容を決め、9年間で子どもたちを育てていけるよう取り組んでいることが特徴です。

今年度は、右表に示した活動スローガンのもと、目指す子ども像の実現のため、3つの視点に基づき、10の取組を推進していく予定です。

西部コミュニティ・スクール 活動スローガン
「子どもの夢や未来を みんなで支えよう」
 ～西部の伝統を生かして 子ども達の「チャレンジする心」を育む～

確かな学力を育てる
～自ら考え、進んで学ぶ～

心豊かで思いやる
～豊かな人間性を育む～

健康で、たくましく鍛える
～心身の健康を育む～

地域・社会に貢献
～地域を愛する心と態度・行動を育む～

西部中学校区 小中一貫教育 目指す子ども像
「心豊かに 大志をいただき たくましく 生きる子ども」

「学び」をつなぐ
学力・体力向上に関する取組

- ① 研究主題の共通化
- ② 乗入授業と指導計画
- ③ スタンドアートの推進

「大志」をつなぐ
9年間で学ぶ「大志学」

- ① キャリア教育の推進
- ② 生き方・進路指導
- ③ 職場訪問・職場体験
- ④ 地域の教育資源活用

「人と人」をつなぐ
子ども同士、地域等との交流活動

- ① 小・中学生 合同学習
- ② 地域での教育活動
- ③ 教職員の交流

◆令和2年度各プロジェクトの取組

5月18日(月)に西部小を会場に、本年度第1回目の小中一貫会議を実施しました。その中で、各部の今年度の活動計画を協議・決定しました。今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から、計画通りに進められないことが予想されます。各部で連携をとりながら、可能な範囲で事業を進めていきます。

各部会の主な取組	
授業推進部会	家庭学習の取組、研究授業相互参観、特別支援学級の合同授業など
交流推進部会	教職員のスポーツ交流、生徒指導交流、中学校合唱交流会の企画推進など
児童会・生徒会部会	CS あいさつ運動への参加、小中合同リングブル運動の企画推進など
中学校登校部会	11月、2月の中学校登校体験の企画推進など
事務連携部会	他の部会との連携、教育活動支援や財務等の情報交換など



5月18日
第1回小中
一貫会議の
様子



6月9日
今年度最初
のCSあい
さつ運動の
様子

◆令和3年度小中一貫教育全国サミット in 北広島に向けた取組

令和3年度に行われる「小中一貫教育全国サミット in 北広島」への準備が進んでいます。小学校5本、中学校2本、小5中2・小6中3・特別支援学級の合同授業3本の計10本の授業を公開する予定です。西部中学校区の特徴であるCS や地域の方々と連携した授業を多く公開したいと考えています。



- プレ授業① 11月5日(木) 5h 西部中にて**
 総合「防災を学ぶ 小5中2合同災害図上訓練」【合同授業】
市の危機対策課、防災マイスターの方を講師にして、災害図上訓練に取り組み。
- プレ授業② 11月25日(水) 6h 西部小にて**
 小4算数「どのように変わるか調べよう」【系統性・乗入授業】
重点化された指導計画に基づいて、計画的に乗り入れを行い、児童生徒理解と授業改善につなげる。
- プレ授業③ 11月27日(金) 6h 西部中にて**
 総合「防災を学ぶ 小6中3合同CS防災訓練」【CS・合同授業】
CSコーディネーター部員を講師にして、防災訓練に取り組み。

今年度は、左の表のとおり、3本のプレ授業を行います。①と③は合同授業、②は系統性と乗入授業、③はCSとのかかわりという視点から、小中の全教職員で検証します。そのうちの1本は、北海道教育大学教授の内山隆先生にもご覧いただき、アドバイスを受ける予定です。また、プレ研という形ではありませんが、他の学年でも略案を作成して事前授業を行い、令和3年度のサミット本研に備える予定です。